

(お知らせ)

多核種除去設備等処理水（ALPS 処理水）の海洋放出に係る
放出開始後 1 年間の放射線環境影響評価報告書（運用段階）について

2024 年 12 月 9 日
東京電力ホールディングス株式会社

当社福島第一原子力発電所の事故により、今なお、地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに多大なるご心配とご負担をおかけしていることにつきまして、心より深くお詫び申し上げます。

2023 年 8 月 24 日に多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS 処理水」）の海洋放出を開始し、1 年以上が経過しました。

その間、国際基準に則った国内基準に従い、人体や環境への安全を十分に確認したうえで、計画通り放出を実施しております。

IAEA（国際原子力機関）の安全基準文書では、施設の運用開始など必要に応じて、放射線環境影響評価を実施することとなっております。

2023 年 8 月 24 日の海洋放出開始により運用段階に入り、本年 8 月をもって 1 年が経過したことから、放出開始後 1 年間（2023 年 8 月 24 日～2024 年 8 月 25 日）の放射線環境影響評価を実施しました。

評価結果は、海洋放出前に行った評価と同様、線量限度や線量目標値、また国際機関が提唱する生物種ごとに定められた値を大幅に下回る結果となり、人及び環境への影響は極めて軽微であることを確認しました。

廃炉作業の一環の ALPS 処理水の海洋放出は、長期にわたる取り組みで、引き続き、緊張感を持って安全性の確保に取り組んでいきます。

福島第一原子力発電所の廃炉、処理水等の対策を安全最優先で着実に進めるとともに、地域復興に向け、「福島への責任」を貫徹してまいります。

<別紙>

[別紙 1：ALPS 処理水の海洋放出に係る放出開始後 1 年間の放射線環境影響評価（運用段階）の評価結果について](#)

[別紙 2：多核種除去設備等処理水（ALPS 処理水）の海洋放出に係る放出開始後 1 年間の放射線環境影響評価報告書（運用段階）](#)

以 上